

わが街 Watching

子どもの安全を守る意識を高めて

防犯ポスター表彰式、防犯教室、防犯ブザー配布

10月12日、田川警察署で「第5回防犯ポスターコンクール表彰式」が行われ、田川防犯協会連合会長賞を受賞した今城春人くん（金川小学校2年）と田川警察署長賞を受賞した石井亜弥さん（後藤寺小学校3年）が吉岡恭利同連合会副会長と河野修久田川警察署長から表彰状を受け取りました。

このコンクールは、小学生の防犯意識を高めることを目的に同連合会管内（田川市、香春町、糸田町、福智町、赤村）の小学校に呼び掛けており、40点の力作が寄せられました。今城くんは弟が連れ去りに遭わないようにと願って「知らない人についていかない」と題し、石井さんも連れ去りがなくなしてほしいとの願いを込めて

「防犯ブザーと大きな声で自分を守ろう」と題した作品を披露しました。2人は「作品を見た人に思いが伝わってほしい」と声をそろえました。

10月20日には、弓削田小学校で防犯教室が行われ、全校児童424人が参加しました。この日は、田川警察署生活安全課職員が不審者役として学校に現れ、子どもたちは校内放送に従って体育館に避難。追いかけてきた不審者を、教員2人がさすまたで取り押さえる実演を披露しました。また、子どもたちは助けを呼ぶ大声の出し方など不審者に声をかけられたときの注意点を学びました。その後、田川防犯協会連合会から1年生に向けて、防犯ブザーが配布されました。



▲吉岡副会長(左端)、河野署長(右端)と一緒に作品を手にする今城くん(左中)と石井さん(右中)



▲代表3人が防犯ブザーを受け取りました。この防犯ブザーは同連合会管内すべての小学1年生に贈られました

繊細な力加減で慎重に

東鷹高等学校魚のさばき方講習会

10月11日、東鷹高等学校で「魚のさばき方講習会」が行われ、総合生活科の3年生22人が筑豊鮮魚買受人協同組合（瀧野伸雄理事長）に所属する田川市郡の鮮魚店主など10人の教えを受けました。

この取り組みは、生徒の魚に対する興味・関心を深めさせ、魚の取り扱いの上達を目指して行われているもの。この日は、イワシやサバを三枚におろしたり、ヤリイカを刺身にしたりとベテランの技術を見聞きして、さまざまな包丁さばきに挑戦。自分の手でさばいた特別な刺身や寿司を楽しみました。

初めて魚をさばいたという若戸彩水さんは「力加減が難しかった。ぜひ家でも挑戦してみたい」と笑顔で話しました。



▲真剣な眼差しで職人の手先を見つめる生徒たち

田川の学力向上に力こぶ

田川地区学力向上講演会

10月4日、田川文化センターで「田川地区学力向上講演会」が行われ、市内外の保護者や教職員、行政職員など約600人が参加しました。

これは、講演会を通して学校・家庭・地域・行政が、学力向上における役割や責任を理解することを目的に実施しているもの。この日は、市内各小学校在学力向上に関する取り組みの実践内容を報告した後、市の学力向上アドバイザーである陰山英男さんが「子どもが伸びる教育 伸びない教育」と題して講演。読み書き計算の反復学習などの指導法である「陰山メソッド」を中心に、ICT教育の先進的な事例など、さまざまな角度から学力向上に向けた教育方法を示しました。



▲陰山さんは「脳を鍛えることが学力向上につながる」と訴えました

シリーズ 田川市立病院だより

外来化学療法室を設置しました



当院では食道がん、胃がん、大腸がん、肝臓がん、膵臓がん、胆道がん、乳がん、肺がん、腎臓がん、膀胱がん、前立腺がん、子宮がん、卵巣がんなどの治療に化学療法を行っています。

新しい抗がん剤である分子標的薬などの登場により、最近のがん化学療法の進歩は目覚ましく、副作用対策も進み、大半の治療が通院で行えるようになりました。そこで、外来化学療法を安全、安心、快適に受けることができる専用の治療室を設置しました。

この治療室では、外来化学療法担当のチーム（医師・看護師・薬剤師）が協力し、安全・安心な治療を行います。がん化学療法において熟練した看護技術と知識を持った「がん化学療法認定看護師」が、患者さんの状態を見守り、副作用対策に努めます。また、薬のこと、副作用の症状や対応などさまざまな疑問・質問に答えます。

さらに、プライバシーが守られた環境で、リクライニングチェアに座って快適に、テレビを観ながら、リラックスした状態で点滴治療を受けることができます。

●くわしい情報はHPで検索

田川市立病院

クリック

「ふうじ餅」を食べて、来年も良い年に!

気が付けば、あっという間に12月。すっかり寒くなりました。今号では、伊田商店街を担当する大平隊員の活動をお知らせします。

大平隊員は、数か月前から赤村の地域おこし協力隊員と赤村特産物センター加工所の協力を得て「ふうじ餅」という商品を開発していました。商品名からピンときた人がいるかもしれませんが、餅の名前は、あらゆる災いを封じ込める風治八幡宮の「封宮」からアイデアを受けたものです。商品のラインナップは、がん封じの「よもぎもち」、認知症封じの「しそまぜもち」、便秘封じの「甘酒もち」の3種類。

なんだか縁起が良さそうです。

「ふうじ餅」は、12月15日(金)に開催される伊田商店街「ふうじ市」でお披露目します。また、当日は大平隊員が大眾演劇の経歴をいかし、女形の化粧をして販売。新商品のデビューに花を添えます。ちなみに「ふうじ市」は、風治八幡宮の「封宮」の遷座に合わせて、毎月第3金曜日に伊田商店街で開催しています。機会があれば、みなさんで遊びに来てください。ふうじ餅、美味しいですよ~!



▲私たちがつくりました

地域おこし協力隊 自転車GO

Facebookでも活動を発信中! スマホ、携帯電話から今すぐアクセス!

大平QR  砂子間QR 

病院ボランティア募集! ●問い合わせ 田川市立病院 (☎44-2100)